

編集後記

気候変動の影響により、気象災害の激甚化・頻発化が進む今日、国土強靭化を見据えた都市基盤の整備が進められています。特に、高度経済成長以降に集中的に整備されたインフラの老朽化は深刻であり、これらを維持管理していくために、我々に課せられた役割は大きいと言えます。インフラを国民が持つ「資産」として捉え、整備・維持管理・利活用の各段階において、工夫を凝らした新たな取り組みを実施することにより、インフラの潜在力を引き出すとともに、インフラによる新たな価値を創造し、持続可能性を高めることにより、都市環境を向上させていくことが期待されています。

今月号は、前回から2年ぶりとなる特集テーマ「都市環境の向上、都市基盤整備」についてご紹介しました。

巻頭言では、新潟工科大学工学部工学科の樋口秀教授より、老朽化が進む都市インフラの計画的な更新が必要であり、費用負担の議論が求められる中、都市インフラの補修・更新費用に特化した道路特定財源の復活、固定資産税、都市計画税の税率アップによる増収分を活用した基金設立と、その活用が有効であることをご提言いただきました。

行政情報では、国土交通省都市局都市環境課より、都市行政におけるカーボンニュートラルに向けた取組事例、優良緑地確保計画認定制度(TSUNAG)、脱炭素都市づくり大賞受賞事業についてご紹介いただきました。都市の環境性能向上、地域

の課題解決、そして持続可能な社会の形成を目指す取り組みが強調されており、気候変動対策、生物多様性の確保、Well-beingの向上を通じて、地域の価値を高めることが期待されます。

技術報文では、都市再生分野における都市基盤施設整備に係る支援や取り組み事例、設計・施工の初期段階からBIM/CIMを取り入れた東京メトロ銀座線渋谷駅移設プロジェクト、XR技術によって施工中の地盤変状をリアルタイムで可視化し、安全管理の高度化を図る新技術、GISを活用した地域分析によって地域の課題や特性を可視化し、まちづくりの担い手の活動を支援するサービス、スマートビルの中核を担うデータプラットフォームの開発と実装事例などについてご紹介ご報告いただきました。

交流のひろばでは、盛土工事における効率的かつ面的な締固め品質管理を目的として開発された、新しい土工・舗装管理システムについてご紹介いただきました。建設分野におけるロボット化と5G技術の活用が、災害復旧や社会インフラの維持管理に大きく貢献するとともに、遠隔操縦や品質管理の効率化が進むにつれ、労働人口の減少に対応した合理化が期待されます。

最後に、突然の原稿執筆のお願いにも関わらずご快諾いただき、お忙しいところご協力いただきました執筆者の皆様、関係者の皆様に心より御礼申し上げます。本誌に寄せられた貴重な情報が、今後の都市環境の向上、都市基盤整備に対する技術向上の一助となれば幸いです。

(出口・那須野)

機関誌編集委員会

編集顧問

今岡 亮司	加納研之助
後藤 勇	新開 節治
関 克己	田中 康之
田中 康順	中岡 智信
渡邊 和夫	見波 潔

編集委員長

中野 正則	日本ファブテック(株)
-------	-------------

編集委員

吉田 真人	国土交通省
大津 太郎	農林水産省
早矢仕 明	(独)鉄道・運輸機構
岡本 直樹	(一社)日本機械土工協会
丹 秀男	鹿島建設(株)
田村 憲	大成建設(株)
岩野 健	清水建設(株)
桐山 茂雄	(株)大林組
鈴木 秀之	(株)竹中工務店
小林 茂樹	(株)熊谷組
松本 清志	(株)奥村組
京免 継彦	佐藤工業(株)
加取 新	鉄建建設(株)
副島 幸也	(株)安藤・間
松澤 享	五洋建設(株)
那須野陽平	東亜建設工業(株)
佐藤 裕	日本国土開発(株)
丑久保吾郎	(株)NIPPO
室谷 泰輔	コマツ
山本 茂太	キャタピラージャパン
花川 和吉	日立建機(株)
丹治 雅人	コベルコ建機(株)
漆戸 秀行	住友建機(株)
大竹 博文	(株)加藤製作所
田島 良一	古河ロックドリル(株)
鈴木 健之	施工技術総合研究所

事務局

(一社)日本建設機械施工協会

6月号「地球温暖化・環境対策特集」予告

・道路の脱炭素化の取組推進に向けて ・地球温暖化対策計画 ・SEP船「BLUE WIND」を活用した洋上風力発電所の建設 ・建設現場への電動化に向けた取り組み ・作業船のCO₂削減対策 ・建設時CO₂排出量予測システム「TCARBON Navios」の開発 ・CO₂フリー水素の活用に向けて「次世代エネルギープロジェクト」第2フェーズに着手 ・社会実装に向けた路面太陽光発電技術に関する構造の一検討 ・バイオ炭インターロッキングブロックの開発 ・低炭素型地盤改良材の開発 ・独自木の微細藻類培養と完全循環型アクアポニクスを掛け合わせた次世代型ハイブリッド農業システムの実証実験 ・集材材ダブルスキンを纏った都市型オフィス ・ゼロカーボンビル建設プロジェクトにおける脱炭素技術 ・工場のZEB化と水素エネルギー実証 ・ESG/SDGsの取組み

【年間定期購読ご希望の方】

- ①書店でのお申し込みが可能です。お近くの書店へお問い合わせください。
- ②協会本部へのお申し込みは「年間定期購読申込書」に必要事項をご記入のうえFAXをお送りください。

詳しくはHPをご覧ください。

年間定期購読料(12冊) 10,032円(税・送料込)

建設機械施工

第77巻第5号(2025年5月号)(通巻903号)

Vol.77 No.5 May 2025

2025(令和7)年5月20日印刷

2025(令和7)年5月25日発行(毎月1回25日発行)

編集兼発行人 金井道夫


印刷所 日本印刷株式会社

発行所 本部 一般社団法人 日本建設機械施工協会

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館内

電話(03)3433-1501; Fax(03)3432-0289; <https://jcmanet.or.jp/>

施工技術総合研究所	〒417-0801 静岡県富士市大淵 3154	電話(0545)35-0212
北海道支	〒060-0003 札幌市中央区北三条西2-8	電話(011)231-4428
東北支	〒980-0014 仙台市青葉区本町3-4-18	電話(022)222-3915
北陸支	〒950-0965 新潟市中央区新光町6-1	電話(025)280-0128
中部支	〒460-0003 名古屋市中区錦3-7-9	電話(052)962-2394
関西支	〒540-0012 大阪市中央区谷町2-7-4	電話(06)6941-8845
中国支	〒730-0013 広島市中区八丁堀12-22	電話(082)221-6841
四国支	〒760-0066 高松市福岡町3-11-22	電話(087)821-8074
九州支	〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-4-30	電話(092)436-3322

本誌上への広告は  有限会社 サンタナ アートワークス までお申し込み、お問い合わせ下さい。

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町2-21-5 井手口ビル4F TEL: 03-3664-0118 FAX: 03-3664-0138

E-mail: san-mich@zam.att.ne.jp 担当: 田中